アルウィン目指し熱戦

タイムス少年サッカー新人戦

第十九回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップは、前回に続いて準々決勝以上の試合会場が長野県のサッカーの聖地・アルウィンとなった。どの参加チームもあこがれのスタジアムでプレーすることを目指し、選手たちは懸命にボールを追いかけて、初日から熱い対戦を繰り広げた。

4年生が半数ながら好プレーも披露した山雅のイレブン

山雅ク小学生

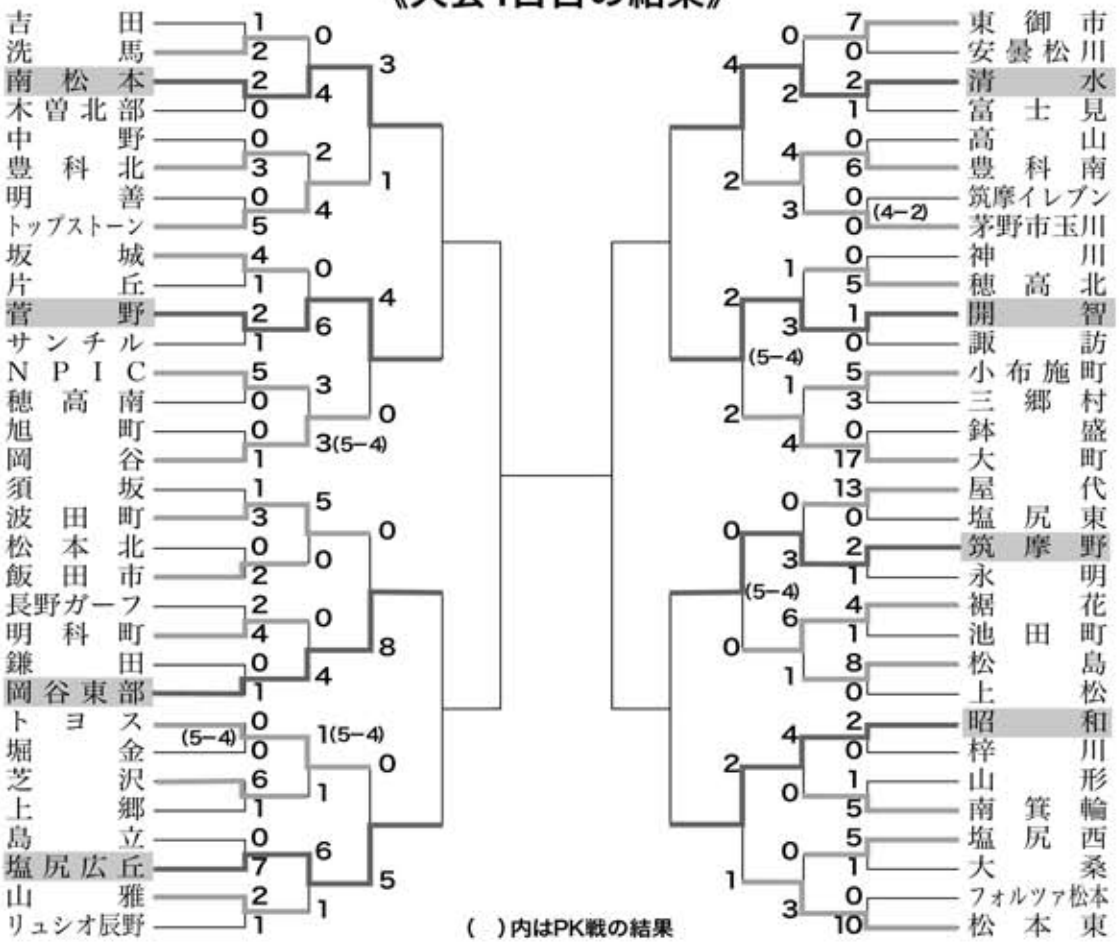
プロ化の動き励み

松本を本拠地とするプロチーム設立運動の母体チームとなる山雅サッカークラブの未来を担う小学生部門の選手が、元気いっぱいにプレーした。4年生が半数を占める若いチームながら初戦を勝ち抜くなど、来季につながる戦いを見せた。

初戦はきらりと光る攻めを展開して2―1で競り勝ったが、2試合目は体力差が出て6失点と完敗した。それでも丁寧なパス回しや切れのあるドリブルなど、「ボールを失わない」を念頭に練習を重ねてきた成果が随所に出て、関係者は「次につながるステップにできる」と評価した。

プロ化の動きは少年たちの励みになっているといい、主将の友岡良太君＝二子小学校五年＝は「海外のプロ選手が夢と頼もしい。社会人部門の監督を務める小林克也さん(四)は「この中からJリーガーが出てくれるとうれしいですね」と期待のまなざしを向けた。

《大会1日目の結果》



（　）内はPK戦の結果